



# いわての工芸品見本市 開催

平成24年度いわての工芸品見本市を、インテリアライフスタイルリビングに参加して開催しました。この催しは、東京から世界へ向けて「ライフスタイルを提案する」インテリア市場の国際見本市で、ライフスタイルを彩る様々なプロダクツが世界中から集い、毎年トレンドを発信するキーイベントです。

南部鉄器、漆器は、色も多彩で、機能的、愛着の湧く商品であると好評でした。藍染や、平泉クラフト、南部鉄器と裂き織の照明、木工品も好評で、特に木工品のけんじのピトくんシリーズは、癒される商品であると多くのバイヤーから引き合いをいただきました。

各出展企業・団体とも活発な商談が行われ、充実のうちに会期を終了しました。新しいデザインや製品が集まる、活発で有意義な商談の場となりました。

## 開催日

平成24年10月17日~19日(3日間)

## 開催場所

東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東5・6ホール

## 出展企業団体

(有)染屋たきうら、(株)うるみ工芸、(株)幸呼来Japan、(株)岩鑄、水沢鑄物工業協同組合、(株)及精鑄造所、及源鑄造(株)、(有)及春鑄造所、(有)丸三漆器、木工房さとう、いわて県南エリア伝統工芸協議会

## インテリアライフスタイルリビング出展企業数

338社(国内企業306社、海外企業32社)

## 来場者数

総入場者数 19,166名

## 岩手発! 酸素濃縮装置 「エアリーライフ 爽」の製品発表

### ~異業種からの医療機器産業への参入~

この度、いわて医療機器事業化研究会会員の株式会社新興製作所様(事業内容:医療・介護機器、情報・メカトロ機器、遊技機器の開発・製造・販売及び保守サービス)は、在宅患者向けの「医療用酸素濃縮装置」(製品名:「エアリーライフ 爽」)を自社開発し、岩手県としては初となる自社ブランド製品での医療機器製造販売認証を取得しましたので、ご紹介いたします。

同社が発売する医療用酸素濃縮装置は、大気中の空気から酸素と窒素を分離させ濃度の高い酸素を作り出して患者に供給する装置であり、肺機能低下などの呼吸器疾患の患者が自宅で酸素吸入する在宅酸素療法に用いられるものです。

地方でもものづくり環境が厳しさを増す中、同社は平成22年、岩手県が自動車や半導体に並ぶ産業の柱と位置付けている医療機器関連産業に新規参入を決めました。開発にあたっては、医療機器事業本部の中に生産部(設計7名)・営業部・品質保証部の3つを組織として立ち上げスタートを切り、数々の困難を乗り越え、2年半をかけて開発に至りました。

開発コンセプトは「安全=快適」です。患者様のQOL(quality of life)の向上を目指す中で、快適であることが安全につながり、そして快適性が安全性を生み出すことを今回の製品で追求しました。

その中のひとつとして、性能面における優位な点は、酸素流量及び酸素濃度の供給安定化です。

同社の製品を含む一般的な酸素濃縮装置は、窒素を吸着させるための沸石材である「ゼオライト」が入った装置内のタンクに空気を圧縮させ、窒素をゼオライトに吸着させて、残った酸素を取り出すという構造になっていますが、ここで使用されるゼオライトや空気を圧縮させるためのコンプレッサーは、使用環境や頻度によって、性能が徐々に低下していきます。この性能が低下した状態で、新品時と同じ条件で制御させていると酸素濃度や流量の低下という現象が生じてしまいます。

同社は「性能の低下」に対して、質量流量を計測し制御するためのマスフローコントローラーと、インバーター制御可能なコンプレッサー用ドライバーを独自に開発し、マイコンによる組込みソフトでのフィードバック制御を行うことにより、酸素流量及び酸素濃度の供給安定化を可能としています。これにより、本機は、通常は80%の労力で運転し、流量や濃度が低下してくると、その労力を徐々に上げて、長期間、安

定した性能を保つことが可能となりました。

これ以外にも、酸素流量設

定の操作ミスや火気による事故を防ぐための工夫に力を注ぎました。

また、同社は酸素濃縮装置のメーカーとしては後発であり、異業種からの医療機器産業への参入であるため、デザイン的にも他社にはない、新しい形のを提案していきたいという思いから、宮城大学事業構想学部デザイン情報学科教授、日原広一氏に本機のプロダクトデザインの協力をいただきました。デザインコンセプトは「つながり&ひろがり」です。本機の顔である、青い波の「干渉模様」は、その思いをかたちにあらわしたものです。

とかく部屋の片隅に隠し置かれがちな製品を、むしろ在宅医療の中心として据え置くことによって、患者宅において、人と人、ご家族との「つながり&ひろがり」が、波の干渉模様のごとくにひろがって欲しい、そんな思いが込められたデザインコンセプトです。

現在、在宅酸素療法を必要とする患者数は全国に16万人以上いるともいわれ、同社は医療分野参入初年度において、2,000台の販売を目指すとのことです。震災を経験した岩手の企業として、まずはこの製品を出発点として、在宅医療そして地域医療の発展、そして患者様のQOLの向上の一躍を担うとともに、将来は、他の医療機器の開発も期待したいと思えます。

最後に、株式会社新興製作所様に続き、医療機器産業へ参入する第二、第三の企業が誕生することを切に願い、研究会活動に一層の力を入れてまいりたいと存じます。

## ◎開発経緯

平成22年	医療機器事業分野への参入を決意
同	5月26日、薬事法医療機器製造業許可を取得
平成23年	8月5日、薬事法医療機器製造販売業許可を取得。同時期より酸素濃縮装置の開発に着手
平成24年	9月28日、薬事法医療機器製造販売認証を取得
同	12月より発売を開始

株式会社新興製作所(岩手県花巻市) ☎0198-26-0314(担当:川手)  
URL:<http://www.shinko-exc.co.jp/>

医療機器事業化研究会に関するお問い合わせ  
ものづくり振興グループ(担当:山根) ☎019-631-3825